

顕微鏡システムエラー

ZYGO社では、顕微鏡に対物レンズを取り付けた段階で、『System Error File』を作成する事をお勧めしております。

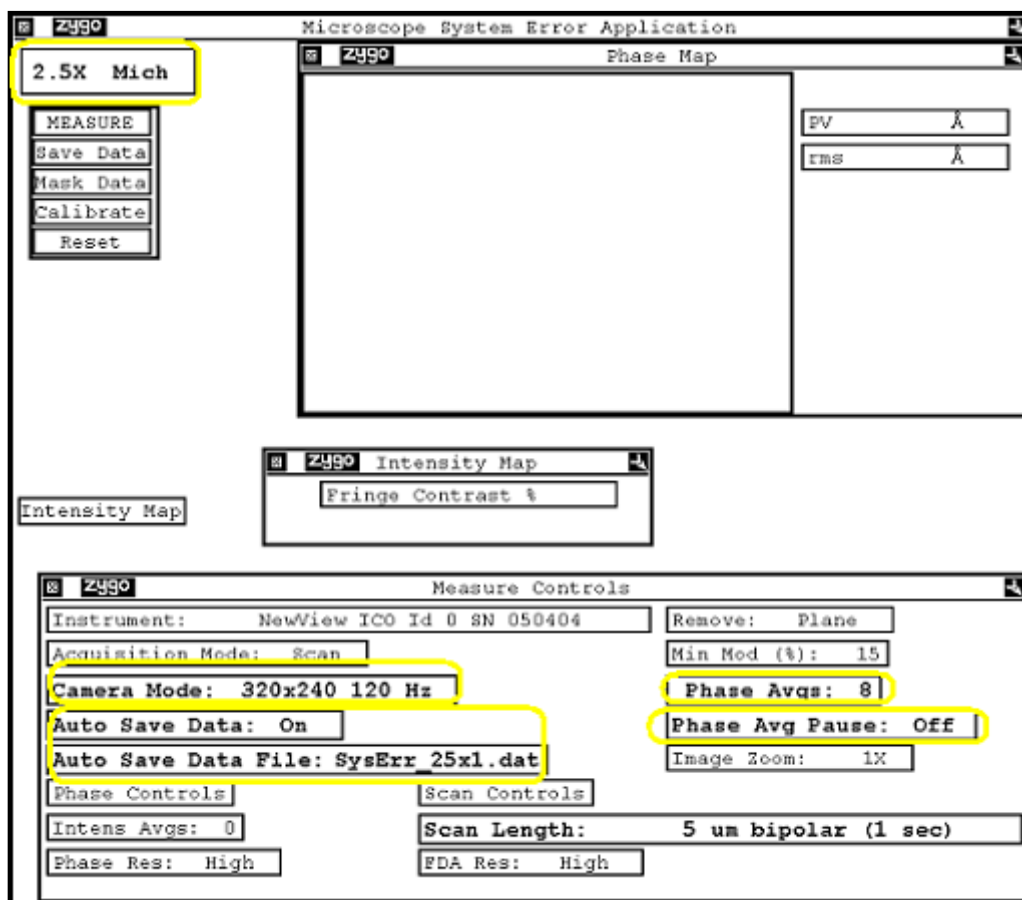
『System Error File』は対物レンズや、顕微鏡のズーム設定を変更するたびに、新しく作成してください。

『System Error File』は測定時の条件『Camera Mode / 対物レンズ / Image Zoom』で作成します。

< System Error File の作成手順 >

MetroProベースウィンドウ上より『MicroErr.app』を開きます。

アイコンがMetroProベースウィンドウ上にない場合は、MetroProWindowメニューから『Load Application』を使用して、アプリケーションアイコンをロードします。



顕微鏡システムエラー

『Objective』をクリックして、使用中の対物レンズを表示します。

『Reference Flat』をケースから取り出して、サポートステージ上にセットします。



『Phase Avgs』を『0』に、『Auto Save Data』を『OFF』にセットします。

『Auto Save Data File』をクリックして、『System Error File』の名前を入力します。

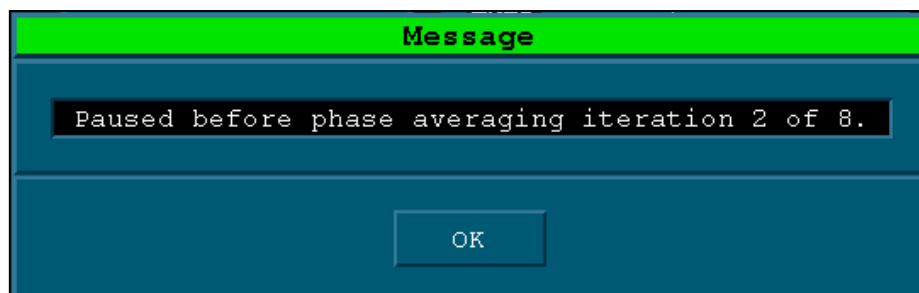
『SysErr_x25x1.dat』のように、あとから判別し易い名前をお使いください。

『Reference Flat』に焦点を合わせ干渉縞をだし、光量調整を行ってから測定をし、SiCにキズや汚れが無い事を確認します。

『Phase Avgs』を『8(推奨)』に、『Phase Avg Pause』を『ON』にセットします。

『Auto Save Data』を『ON』にセットしてから測定します。

Reference Flat をスキャンする毎に測定が一度停止しますので、サポートステージを少量動かしてください。



測定結果に異常が無ければ終了です。何か異常がある場合は前述の手順をやり直してください。

測定結果は『System Error File』として自動的に保存されます。

『System Error』は対物レンズや、対物レンズの取付け方向によって異なります。対物レンズを取り外し、もう一度取り付けなおした場合は『System Error File』を改めて作成してください。

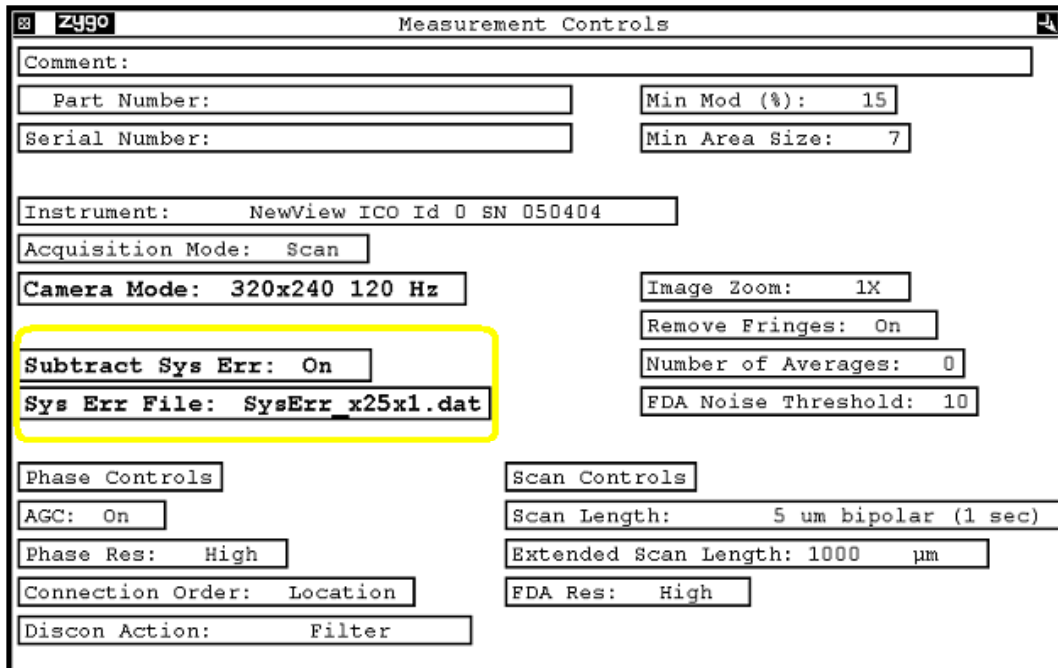
『2.5X』または『5X』のMichelson対物レンズの基準レグを回転した場合も、エラーファイルを改めて作成してください。

顕微鏡システムエラー

< System Error File 利用方法 >

『System Error File』はどのMetroProアプリケーションでも使用する事ができます。
次の作業を行ってください。

使用しているアプリケーションで『Measure Control』を開きます。



Zygo Measurement Controls

Comment:

Part Number: Min Mod (%): 15

Serial Number: Min Area Size: 7

Instrument: NewView ICO Id 0 SN 050404

Acquisition Mode: Scan

Camera Mode: 320x240 120 Hz Image Zoom: 1X

Subtract Sys Err: On Remove Fringes: On

Sys Err File: SysErr_x25x1.dat Number of Averages: 0

FDA Noise Threshold: 10

Phase Controls Scan Controls

AGC: On Scan Length: 5 um bipolar (1 sec)

Phase Res: High Extended Scan Length: 1000 um

Connection Order: Location FDA Res: High

Discon Action: Filter

『Subtract Sys Err』をクリックして『ON』にします。

『Sys Err File』をクリックして、作成した『System Error File』の名前を入力します。それ以降の測定値は、データーから『System Error』を除いた値になります。